

外観



大阪狭山市立第七小学校は、市立東小学校と西小学校の校区を再編し、市内7番目の小学校として1990年に開校した。

1Fトイレ 入口



1Fのトイレには男女トイレの間に多機能トイレを新設。入口には視覚障がい者の方にも配慮して、トイレ内の設備を確認できる触地図を掲示している。

職員用トイレ



職員用トイレもすべて洋式便器に変更し、2度流しを防止する音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットを設置。小便器まわりには、ハイドロセラ・フロアPUとハイドロセラ・ウォールを採用している。

屋外トイレ



運動会など学校行事で小さなお子様連れの保護者の方が来校されることを想定して、屋外トイレの大便器ブース内には、ベビーチェアとフィッティングボードを設置している。

1F男子トイレ 小便器コーナー



小便器は尿石の付着やにおいの発生を抑制することができる、ジアテクト機能付きを採用。さらに床と壁には防汚・防臭機能を備えた、ハイドロセラ・フロアPUとハイドロセラ・ウォールを設置している。

1F女子トイレ 大便器ブース



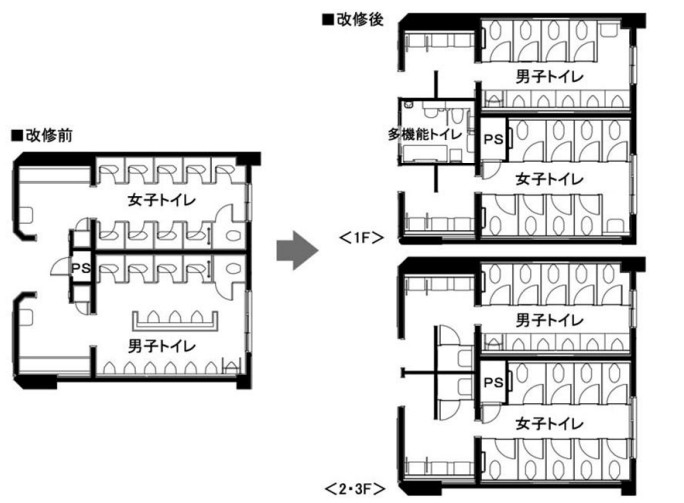
すべての大便器を節水性の高い5.5L洗浄の洋式便器に変更。メンテナンス性を考慮して、詰まりを簡単に取り除くことができる掃除口付大便器を採用している。

改修前トイレ



改修前のトイレは、床・壁がタイル張りで清掃方法は水で洗い流す湿式清掃。大便器はほとんど和式便器で、洗面器の水栓金具はハンドル式。きれいに使用されていたが、設備が古いなど改善点もあった。

トイレ図面



大便器をすべて洋式便器に変更。入口近くにあったPS(配管スペース)の位置を変更することで、スペースを活用。1Fには多機能トイレを、2・3Fトイレには、掃除用流しブースを設置している。

1F女子トイレ 洗面・掃除用流しコーナー



洗面器はカウンターへの水はねを軽減できるタイプを採用し、水栓金具はノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。掃除用流しブースは、掃除用具が乾きやすいように窓際に設置している。

1F多機能トイレ



さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレバック・フィッティングボード・収納式多目的シート・ベビーチェアを完備した多機能トイレを設置している(2200mm×2500mm)。

建築概要

名 称	大阪狭山市立第七小学校
所 在 地	大阪府大阪狭山市東菜葉木2丁目865番地
施 主	大阪狭山市
設 計	株式会社古城建築事務所
施 工	矢野建設株式会社
工 事 期 間	2014年6月～2014年9月
竣 工 年 月	2014年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>
大阪狭山市立第七小学校は築25年が経過し、トイレ設備の老朽化が進んでいたこともありトイレ改修工事を実施。大阪狭山市では、第七小学校以外の小学校は、耐震補強工事にあわせてトイレの改修工事を実施している。

<トイレの特長>
一般家庭のトイレがほとんど洋式便器ということもあり、今回のトイレ改修ではすべての大便器を洋式便器に変更。清掃性の向上に関しては、湿式から衛生的な乾式清掃へ。小便器は尿石の付着やにおいの発生を抑制するジアテクト機能付きの採用。さらに小便器まわりの床・壁には尿垂れや尿飛びを考慮し、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラ・フロアPUとハイドロセラ・ウォールを設置。そのほかバリアフリー配慮として、1Fにフルスペックの多機能トイレを設置し、男女トイレの一部にも手すり付の大便器ブースを設置している。

<学校関係者の声>
学校トイレは、使うのも掃除をするのも子どもたちなので、「壊れにくく、維持管理がしやすいトイレ環境とすること」がもっとも重要だと思います。詰まったものをすぐに取り除ける掃除口付大便器を採用したこと、すべてを洋式便器にしたこと、清掃方法を乾式清掃にしたことは、今後子供たちにとっても維持しやすいトイレづくりにつながって行くと思います。